

令和4年度自己点検・自己評価表

令和5年3月実施

目的 評価項目123項目（Ⅵ入学を除く）を通して、日々の教育活動を振り返り、3年課程構築の一助とする。  
 目標 1. 学校運営の評価の視点を再確認できる。  
 2. 評価の視点で、日々の教育活動を振り返ることができる。  
 3. 3年課程学校運営の具体的な検討資料とする。

評価期間 令和4年4月～令和5年2月の1年間

実施者 看護学科:16名 事務:3名 計19名

方法 1. 説明 令和5年2月14日(水)職員会にて  
 2. 配布 令和5年2月14日(水)  
 3. 回収 令和5年3月 1日(水)～ 3日(金)の間に、浅野事務課長に提出  
 4. 結果 令和5年4月職員会で 集計結果を公表する  
 5. 留意点 1)各項目の評価を「1」としたとき、備考欄にその理由を書くこと  
 2)事務の回答範囲として Ⅲ教育課程の経営とⅣ教授・学習・評価課程 は除く  
 3)今年度は3年課程の入学試験実施のため項目 Ⅵ入学 の回答は除く  
 6. その他 アンケートの記入もお願いいたします。

評価基準のいずれかに○をつけ、備考欄には、「1」をつけた理由や回答に苦慮したこと等  
 お書きください。

\* 評価基準 3(よく当てはまる) 2(大体当てはまる) 1(当てはまらない)

I 教育理念・教育目的

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	学校関係者評価	学校の対応
1	1-1 教育理念・教育目的は、自養成所の教育上の特徴を示している	教員	5	11	0	2.31		教員の1名が当てはまらないというのどこを指すのか。法との整合性という部分で放置できないのでは？  1-1 1-2 教育理念・教育目的についての評価は前年度より全体的に低くなっているようです。特に事務の方は昨年、3の方が多く見られましたが、下回っています。評価する上での考え方や基準について校内で検討・周知されたのでしょうか。 1-2 お一人だけ1の評価の方がいらっしゃいますが、具体的にどのような点が法との整合性を欠くのでしょうか。内容の確認が必要かと思えます。 2-1 2-2 教育理念・教育目的が学生の指針になっているかという点について、教員や事務の方が何らかの機会に確認されているのでしょうか。学生側がどのように感じているかをもとに評価がされているとよいと思えます。 1-2で評価が1がある点について、備考欄に記載がないので、どのような点が法との整合性があるということに当てはまらないのか具体的な内容を知りたいと思いました。  これら1とお答えになっていらっしゃる方は同一人物の可能性がありますか？  3-1～3-3 教員の方の評価は昨年度とほぼ変わりないようですが、教育理念や目的の中に具体的な教育内容・方法・環境が含まれていないという事になります。理念や目的というのはそこまで細かい内容にはならないと考えていますが、評価内容に挙げられているという事は、具体的な内容が学生に伝わるように盛り込む事を求められていると思えますので、検討されてもよいのではないのでしょうか。  3-2から3-3教育理念・教育目的・教育目標において 昨年は評価1を挙げていた方が多い項目でしたが、内容を話し合われた結果、再認識されて評価が上がったということでしょうか。  4-1 4-2 5-1 5-2 評価は3又は2であり、概ね問題はないと思われまます。	1. とした理由を記載していないので、詳細は不明である。
		事務	1	2	0	2.33			
2	1-2 教育理念・教育目的は、法との整合性がある	教員	7	8	1	2.38			
		事務	1	2	0	2.33			
3	2-1 教育理念・教育目的は、学生にとって学習の指針になるように具体的に示している	教員	5	11	0	2.31			
		事務	2	1	0	2.67			
4	2-2 教育理念・教育目的は、実際に学生の学習の指針になっている	教員	4	12	0	2.25			
		事務	2	1	0	2.67			
5	3-1 教育理念・目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育内容を設定しているかを述べている	教員	5	10	1	2.25			
		事務	2	1	0	2.67			
6	3-2 教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育方法をとるのかを述べている	教員	4	11	1	2.19			
		事務	2	1	0	2.67			
7	3-3 教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育環境をとるのかを述べている	教員	4	11	1	2.19			
		事務	2	1	0	2.67			
8	4-1 教育理念・教育目的は、看護、看護学教育、学生観について明示している	教員	4	12	0	2.25			
		事務	2	1	0	2.67			
9	4-2 看護、看護学教育、学生観は実際に教師の教育活動の指針となっている	教員	4	12	0	2.25			
		事務	2	1	0	2.67			
10	5-1 教育理念・教育目的は、養成する看護師等が卒業時点においてもつべき資質を明示している	教員	6	10	0	2.38			
		事務	2	1	0	2.67			
11	5-2 卒業時点にもつべき資質は、社会に対する看護の質を保障するのに妥当なものとなっている	教員	5	11	0	2.31			
		事務	2	1	0	2.67			
集計(平均)		教員	53	119	4	2.28			
		事務	20	13	0	2.61			

II 教育目標

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	学校関係者評価	学校の対応
12	1 教育目標は、教育理念・教育目的と一貫性がある	教員	7	9	0	2.44		教育目標は教育理念と教育目的とおおよそ一貫性があると評価します。 教育目標1)については、准看護学科が終了するに伴い、今後変更となっていくのでしょうか。昨年度も同様に思いましたが、目標に対応する到達レベルは科目や実習毎のねらいが該当するのでしょうか。ねらいは学ぶ内容について具体的に書いてありますが、これが到達レベルとしての表現とは違うように思います。 評価1当てはまらないを選択された方はいませんでしたが、昨年と比べると評価2の割合が多くなっています。3年課程構築に向けて学年目標を熟考れている時間であると認識しました。	
		事務	1	2	0	2.33			
13	2-1 教育目標は、設定した教育内容を網羅している	教員	5	11	0	2.31			
		事務	1	2	0	2.33			
14	2-2 教育目標は、最上位の目標として、教育活動のゴールが読み取れるものとなっている	教員	5	11	0	2.31			
		事務	1	2	0	2.33			
15	3-1 教育目標は、目標内容と到達レベルが対応している	教員	5	11	0	2.31			
		事務	1	2	0	2.33			

16	3-2	教育目標は、具体的で実現可能なものとなっている	教員	4	12	0	2.25		
			事務	1	2	0	2.33		
17	4	看護実践者としての能力を育成する側面と、学習者としての成長を促すための側面から教育目標を設定している	教員	5	11	0	2.31		
			事務	1	2	0	2.33		
18	5	卒業後の継続教育の考え方を示した上で、教育目標を設定している	教員	5	11	0	2.31		
			事務	1	2	0	2.33		
集計(平均)			教員	36	76	0	2.32		
			事務	7	14	0	2.33		

### Ⅲ 教育課程経営

#### <教育活動経営者の活動>

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	学校関係者評価	学校の対応	
19	1-1	教育課程編成者と教職員全体は、教育課程と授業実践、教育評価との関連性を明確に理解している	教員	3	13	0	2.19		昨年度の評価と大きく変化がなく、3評価の方が少ないです。教職員の方が教育理念・教育目的達成に向けて一貫した活動を行うためには、関連性を明確に理解する(共有する)機会があると良いと思われます。	
			事務							
20	1-2	教育課程編成者と教職員全体は、教育理念・教育目的の達成に向けて一貫した活動を行っている	教員	4	12	0	2.25			
			事務							

#### <教育課程編成の考え方とその具体的な構成>

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	学校関係者評価	学校の対応	
21	1-1	看護学の内容について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している	教員	6	10	0	2.38		教職員の方の評価は概ね良好ですが、さらに評価が上がるために、各項目の考え方や根拠について共有・確認されるとよいのではないかと思います。	
			事務							
22	1-2	学修の到達について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している	教員	5	11	0	2.31		明確な考え方と根拠は統一された内容の評価が用いられているのでしょうか	
			事務							
23	1-3	学生の成長について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している	教員	5	11	0	2.31			
			事務							

#### <科目、単元構成>

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	学校関係者評価	学校の対応	
24	1-1	明確な考え方と根拠をもって科目を構成している	教員	7	9	0	2.44		教育目標と整合性はとれていると思います。構成した科目で養成所の特徴をあらわしているかという評価は、具体的にどのような事なのか分かりづらかったです。	
			事務							
25	1-2	明確な考え方と根拠をもって単元を構成している	教員	7	9	0	2.44			
			事務							
26	1-3	科目と単元の構成の考え方は教育理念・目的、教育目標と整合性がある	教員	6	10	0	2.38			
			事務							
27	2-1	構成した科目は看護師等を養成するのに妥当である	教員	7	9	0	2.44			
			事務							
28	2-2	構成した科目は養成所の特徴をあらわしている	教員	5	11	0	2.31			
			事務							

#### <教育計画>

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	学校関係者評価	学校の対応	
29	1-1	単位(科目)履修の方法について教師・学生の双方がわかるように明示している	教員	7	9	0	2.44		1-1～1-3 特に問題はないと思います。	
			事務							
30	1-2	単位(科目)履修の方法は学生の単位(科目)履修を支援するものとなっている	教員	6	10	0	2.38			
			事務							
31	1-3	単位(科目)履修制の考え方を踏まえつつ、看護師等になるための学修の質を維持できるように、科目の配列をしている	教員	4	12	0	2.25			
			事務							

#### <教育課程評価の体系>

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	学校関係者評価	学校の対応	
32	1-1	単位(科目)認定の基準は看護師等に必要学修を認めるものとして妥当である	教員	7	9	0	2.44		1-1 1-2 単位(科目)認定の基準及び方法は概ね妥当であると思われます。 2 問題なし	統一した評価の指針については、今後検討していく
			事務							
33	1-2	単位(科目)認定の方法は看護師等に必要学修を認めるものとして妥当である。	教員	8	8	0	2.50		3-1, 3-2において 評価1としている方がいるため、教育課程を評価する体系や評価結果の活用における倫理規程について話し合う機会が設けられると良いのでは？	
			事務							
34	2	他の高等教育機関と単位互換が可能な体制を整えている	教員	7	9	0	2.44		3をつけている職員がいる一方で1をつける職員が3人もいるのは、なぜでしょう。具体的な評価の体系を示す必要があるのではないのでしょうか	
			事務							

35	3-1	教育課程を評価する体系を整えている	教員	3	10	3	2.00	●体系化したり、根拠を明確に示したりは課題がある ●カリキュラム評価の体制に課題があると感じる ●整っていないと考える	3-1 3-2 昨年度も評価が低い項目です。教育課程を評価するための指標等はないのでしょうか。何らかの体制作りが必要だと思います。評価する体制が整備される事が先決だと思いますが、評価を活用していくために、併せて倫理規定についてご検討いただくとよいと思います。	
			事務							
36	3-2	評価結果の活用における倫理規定を明確にしている	教員	3	10	3	2.00	●体系化したり、根拠を明確に示したりは課題がある ●倫理規程は無い ●明確ではないと思う	倫理規定は道徳的な基準や原則を推し量るものが未作成であれば作成が必要。(日本看護協会の倫理綱領などを参考に)倫理規定がないとはっきり記載する職員がいるのであれば、明確に示す必要があるのではないのでしょうか。	倫理規程については今後作成していく
			事務							

<教員の教育・研究活動の充実>

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	学校関係者評価	学校の対応	
37	1-1	教員が専門性を発揮できるように、教員の担当科目と時間を配分している	教員	3	12	1	2.13		授業準備も業務のひとつと捉え、申請して取得する仕組みが必要。各個人の時間管理や配任せでは改善にならない。トップからいつどれだけの時間を使うか、または教員同士の調整で各時間取得方法を考えるべきかと考えます。	ガイドラインに示されている時間は守っているが、授業準備以外の業務が多すぎるのが現状である。現在業務内容の精査を行い、少しずつ、業務委譲をしている。令和4年度は、2年課程の授業の実施の他、3年課程のカリキュラム検討に多くに時間を割いたので、このような結果になったと思われる。また、業務調査を行い改善点を見出し、対応をしていく。
			事務							
38	1-2	教員が授業準備のための時間がとれる体制を整えている	教員	2	9	5	1.81	●教育の質の向上を組織的かつ長期的に整える必要がある ●勤務中は学生対応・実習などがあるため勤務時間内の準備は難しい ●授業準備は実習や他用でほとんど取れない事が多い	授業準備の時間が少ないと感じているが、IV教授、学習、評価課程では、評価1となっている項目が少ない点で教員側の努力を感じる。自己・相互研鑽システムが整えられるよう期待をこめていることが見受けられた。学生指導の他に十分な授業準備の時間が必要ではないでしょうか。準備不足の授業は学生の不利益だと考えます。	
			事務							
39	2-1	教育課程の実践者である教員が自ら成長できるよう、自己研鑽のシステムを整えている	教員	4	9	3	2.06	●教育の質の向上を組織的かつ長期的に整える必要がある ●システムにはなっていないので、システムを整えていくことが大切	自己研鑽は自律的に行うものだが、教育システムとして個人に任せているのは、自己啓発にもつながらない可能性があります。自己研鑽を行っている教員を承認して行く仕組みも必要かと考えます。教員の質の向上のために、個人の責任で自己研鑽を促しているだけではシステムとはいえないのではないのでしょうか。	
			事務							
40	2-2	教員が相互に成長できるよう、相互研鑽のシステムを整えている	教員	3	9	4	1.94	●教育の質の向上を組織的かつ長期的に整える必要がある ●システムとしては無い ●整っていない。自分で考えて行っている	1-1 教員によって差があるという事でしょうか 1-2 2-1 2-2 評価にばらつきが見られますが、個人の自己研鑽への取り組み方の差でしょうか。多忙な教職員の方が成長するため、組織としての体制作りは教育の質向上のためにも必要だと考えます。2-1同様、教員の自主的な行動に頼らず、相互の研鑽をどのように行うかシステムを整える必要があるのではないのでしょうか。	
			事務							

<学生の看護実践体験の保障>

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	学校関係者評価	学校の対応	
41	1-1	臨地実習施設は、養成所の個別の教育理念・教育目的、教育目標を理解している	教員	3	13	0	2.19		1-1 実習要綱内容の確認と実習打ち合わせ会議等と通し、理解に努めていきます。1-2 2-1 実習施設として、実習箇所との連携、実習指導者の育成に向けた取り組みを行っています。評価が概ね2(だいたいあてはまる)以上となっている。学生を受け入れる実習地側もコロナ禍で学習を支援する体制が弱まっている可能性があるため、十分に準備する必要があると再認識できた。	
			事務							
42	1-2	臨地実習施設は学生の看護実践の学習を支援する体制を整えている	教員	4	12	0	2.25		それぞれの施設で見える化(可視化)出来るよう工夫してもらえるといいですね 臨地実習において対象の権利を尊重する考えをもつことは、看護師としても重要な資質です。おそらく様々な場面で指導をされてると思われそうですが、計画的に実施されてるかどうかで評価に差がついているのではないのでしょうか。4-2でも同様で、安全教育対策は行われていても計画的に行うことの意義を理解し実践できるとよいと考えます。	
			事務							
43	2-1	臨地実習指導における学生の学びを保障するために、臨地実習指導者の役割を明確にしている	教員	3	12	1	2.13		2-2 1の評価の方がいるのが気になります。役割について理解されていないという事でしょうか。低評価の具体的内容が分からないのですが、課題があれば学校からもご提示いただき一緒に考えていけると思います。	
			事務							
44	2-2	臨地実習指導における学生の学びを保障するために、教員の役割を明確にしている	教員	7	7	2	2.31	●役割は明確にあってもそれを果たせていない教員が多いと考えるため	非常に大切な事ですので、明示した上で学生にしっかりと考え方をご指導いただければと思います。	
			事務							
45	2-3	臨地実習指導者と教員の協働体制を整えている	教員	6	8	1	2.33		1-1 実習要綱内容の確認と実習打ち合わせ会議等と通し、理解に努めていきます。1-2 2-1 実習施設として、実習箇所との連携、実習指導者の育成に向けた取り組みを行っています。	
			事務							
46	3-1	学生からケアを受ける対象者の権利を尊重するための考え方を明示している	教員	9	7	0	2.56			
			事務							
47	3-2	対象者の権利を尊重する考え方に基づいて、学生への指導を計画的に行っている	教員	5	10	1	2.25			
			事務							
48	4-1	臨地実習において学生が関係する事故を把握、分析している	教員	7	8	1	2.38			
			事務							

49	4-2	学生に対する安全教育、安全対策を計画的に行っている	教員	7	8	1	2.38		時に臨地実習指導者と教員の看護過程の展開の方法が違ったり、求められる看護学生像が違うことがあります。学生が実習指導者と教員の間で十分に学べないことのないよう、教員の役割体制づくりをしてほしいと思います。
			事務						
集計(平均)			教員	170	315	26	2.28		
			事務						

IV 教授・学習・評価課程

<授業内容と教育課程の一貫性> <看護学としての妥当性> <授業内容間との関連と発展>

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	学校関係者評価	学校の対応	
50	1	授業内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されている	教員	6	10	0	2.38		授業内容については、個々の教員の評価をもとに、全体での検討を進めていくとよいと思います。	
			事務							
51	2-1	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べている	教員	4	12	0	2.25		自己評価だけでなく教員側の評価や学生からの評価も含められると良いのではと思います。	
			事務							
52	2-2	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性をもっている	教員	4	12	0	2.25			
			事務							
53	3	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性がある	教員	6	10	0	2.38			
			事務							
54	4	授業内容間の重複や整合性、発展性等が明確になっている	教員	4	12	0	2.25			
			事務							

<授業の展開過程>

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	学校関係者評価	学校の対応	
55	1	授業形態(講義、演習、実験、実習)は、授業内容に応じて選択している	教員	11	5	0	2.69		授業展開についても客観的に評価できる体制や評価基準があるとよいと思います。	
			事務							
56	2	授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画に明示し、実践している	教員	6	10	0	2.38		この項目については、先生方がお互いに協力し合って生き生きと授業を行ってくださっている姿を想像するだけで、心がうれしくなります。もっと評価が上がるよう協力していただきたいです。	
			事務							
57	3	授業の展開過程の他に、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援している	教員	6	10	0	2.38			
			事務							
58	4	学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしている	教員	4	12	0	2.25		授業形態は内容に応じて選択され、学生の理解につながっていると考えます。	
			事務							

<目標達成の評価とフィードバック>

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	学校関係者評価	学校の対応	
59	1-1	評価計画を立案し、実施している	教員	5	11	0	2.31		個人活動で行われている方の評価の方法について興味を持ちました。どのような評価を行っているのか、どうすれば多様な評価となるのか、周囲が少しずつ興味をもって情報が広がっていけば全体での取組に繋がっていくと思います。	授業評価については、各自に任せているところがあるが、今年度は、統一した評価表を用いて実施することを後期から計画している。
			事務							
60	1-2	評価結果に基づいて、実際に授業を改善している	教員	4	11	1	2.19	●個人活動にとどまり、学校全体での取り組みにはなっていないので実施にばらつきがあるため	1-1 1-2 個人活動だけになるのではなく、全体で評価結果を改善につなげていけるとよいと思います。	
			事務							
61	2-1	学生および教育活動を多角的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れている	教員	4	9	3	2.06	●担当した授業のみ行っている ●個人活動にとどまり、学校全体での取り組みにはなっていないので実施にばらつきがあるため	2-1 2-2	
			事務							
62	2-2	教育目標の達成状況を多面的に把握している	教員	2	12	1	2.07		評価のばらつきがありますが、具体的な課題を挙げた上でご検討されるとよいと思います。評価方法については特に評価が低くなっています。個々の教員の視点を共有し、組織として評価方法の見直しをされてもよいのではないかと思います。	
			事務							
63	3-1	学生に単位(科目)認定のための評価基準と方法を公表している	教員	7	9	0	2.44		3-2	
			事務							
64	3-2	単位(科目)認定の評価には公平性が保たれている	教員	6	9	1	2.31		評価1の方の理由が不明ですが、評価基準があっても公平性を欠く要素があるのであれば、改善が必要と思います。	
			事務							

<学習への動機づけと支援>

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	学校関係者評価	学校の対応	
65	1-1	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体としての一環性がある	教員	4	12	0	2.25		1-1 1-2 昨年度より評価が上がっているのは、シラバスの内容や学習への指導について何等かの改善がされた結果なのでしょうか。	
			事務							
66	1-2	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっている	教員	4	12	0	2.25		当てはまらないと評価された方がいませんでした。これからも継続されますようよろしくお願いいたします。	
			事務							
集計(平均)			教員	87	178	6	2.30			
			事務							

V 経営・管理過程

<設置者の意思・指針>

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	学校関係者評価	学校の対応
67	1-1 養成所の管理者は教育理念・教育目的についての考え方を明示している	教員	8	8	0	2.50		事務方の一部の方がご理解いただけていないようですが、誰もが分かるように明示されていることが大事かと思われます	令和4年度は、安藤会長より直接お話を伺う機会を設けた。今後他定期的に機会を設けていく。
		事務	2	1	0	2.67			
68	1-2 養成所の管理者は教育課程経営についての考え方を明示している	教員	7	9	0	2.44		管理者の考え方や指針を明確に伝える事は大事だと思います。各項目が明示されていても、理解度には個人差が生じるものだと思いますので、管理者と教職員の方との意見交換の場等を設けていくのもよいと思います。	
		事務	1	1	1	2.00	●誰に対してどこに明示しているのか分からない		
69	1-3 養成所の管理者は教育評価についての考え方を明示している	教員	5	11	0	2.31		教職員の意見交換の場があったというか、評価は若干上がったような印象。事務側では明示されていないと感じている方がいるようなので引き続き、意思・指針を発信し、それを受けとる側もアンテナを高く保つ必要があると思います。	
		事務	1	2	0	2.33			
70	1-4 養成所の管理者は養成所の管理運営等についての考え方を明示している	教員	7	9	0	2.44		●誰に対してどこに明示しているのか分からない	
		事務	2	0	1	2.33			
71	1-5 明示した管理者の考えと、設置者の意思とは一貫性がある	教員	3	13	0	2.19		●明示されているのか分からないので、一貫しているか不明	
		事務	1	1	1	2.00			
72	1-6 教職員は養成所の設置者と管理者の考え方を理解している	教員	3	13	0	2.19		●全員理解しているか分かりかねる ●理解していても行動には反映されていないと感じる	
		事務	1	0	2	1.67			

<組織体制>

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	学校関係者評価	学校の対応
73	1-1 養成所の組織体制は、教育理念・目的を達成するための権限や役割機能が明確になっている	教員	3	12	1	2.13		役割の中身や権限委譲について明確にする事は、組織運営上、非常に重要な事であると思います。昨年と同様、各項目で低い評価があります。組織内でのコミュニケーションや情報共有のあり方に課題があるように思います。	決定したことは、職員会や教務会で伝達する流れはあるが、評価点が低いことから、うまく回っていないことを示しているのか、どこがどのようにうまくいっていないのか、精査して対応を検討していく。
		事務	1	1	1	2.00	●明確になっていないものもある		
74	1-2 意思決定システムが明確になっている	教員	2	12	2	2.00	●明確になっていない	心理的安全性のある職場風土づくり	
		事務	1	1	1	2.00	●共有すべき情報にあやふやな部分が見受けられる		
75	1-3 意思決定システムは、組織構成員の意思を反映できるように整えられている	教員	2	12	2	2.00	●整えられていない。意見を吸い上げるところから崩れていると考える	情報の共有のしくみはどのようになっているのでしょうか？要検討でしょうか。またコミュニケーションの課題はどうでしょうか。キーワードになっている「意思決定システム」について、明確にして欲しいと思いました。	
		事務	1	1	1	2.00	●情報の共有自体ができていないため、組織構成員の意見がバラバラに動いていると感じる		
76	1-4 意思決定システムは、決定事項が周知できるように整えられている	教員	3	11	2	2.06	●決定事項が伝わらないことが多いと感じるため	2-2については、教員と事務の間に溝がある印象を持った。同じ職場にいてもお互いが理解しにくいこともあるので、相手を知り受け入れて意見交換する場が必要ではないかと感じました。	
		事務	1	1	1	2.00	●情報の共有自体ができていないと感じる		
77	2-1 組織の構成と教職員の任用の考え方と、教育理念・教育目的達成との整合性がある	教員	3	12	0	2.20		危機感を持っていらっしゃる方に、ぜひ具体的なご提案ができる機会があるといいです。言うは容易いのですが、実際の実践となると難しいですので、忌憚のない意見が発信できるしくみも必要なんではないでしょうか。教職員の資質向上に向けた体制作りを進めていただければと思います。	
		事務	1	2	0	2.33			
78	2-2 教職員の資質の向上についての考え方と対策には教育理念・教育目的達成との整合性がある	教員	3	11	1	2.13	●もっと教職員の資質の向上に取り組んでほしい。組織体制に問題があると感じる		
		事務	1	1	1	2.00	●資質の向上をする前に、意識改革が必要と考える		

<財政基盤>

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	学校関係者評価	学校の対応
79	1-1 財政基盤を確保することについての考え方が明確である	教員	4	12	0	2.25		職員一人ひとりが経営意識を持てるような働きかけを行うと共に、財政状況の共有と意見を吸い上げる仕組みやツールがあるとよいと思います。	今年度も8月の職員会で報告する予定。
		事務	0	2	1	1.67	●入学生の確保のみになっている		
80	1-2 財政基盤を確保することについての考え方は、学習・教育の質の維持・向上につながっている	教員	3	13	0	2.19		財政については、情報を明らかにする姿勢も、経営状況を共有認識し皆で対策していこうとする姿勢もどちらも大切だと思います。昨年、意見交換する機会を作るとされていましたので、学修しやすい環境を整えていけるようこれからも協力してってください。	
		事務	0	3	0	2.00			
81	2-1 教職員は、養成所がどのような財政基盤によって成り立っているかを理解している	教員	4	12	0	2.25		●全員が理解しているのか不明である	
		事務	0	2	1	1.67			
82	2-2 教職員のそれぞれの観点からの財政についての意見は、経営・管理過程に反映できるようになっている	教員	1	13	2	1.94	●財政について意見を求められる事は無い	職員である限り、経営参画は重要な役割ですが、受け身になっておられる方に対し、この今後の管理者としての働きかけが大事かと思われます	
		事務	0	1	2	1.33	●意見を出す場はありますか ●意見があっても反映できるのか不明		

<施設設備の整備>

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	学校関係者評価	学校の対応
83	1-1 学習・教育環境の整備について、管理者の考え方を明示している	教員	3	13	0	2.19		1-1から2-2について当てはまらないとの評価がないため、施設設備の整備は行われているのだろうと推察する。学修にとってより有益になるように整えてほしい。福利厚生については運営する側と受ける側の相互の意見や個別の満足度が異なりやすいものなので、意見を聞く機会や検討する姿勢は保ってほしい。	学生や職員の意見を吸い上げて今後検討してい
		事務	0	3	0	2.00			
84	1-2 管理者の考え方に基いて整備計画を立案し、実施している	教員	3	13	0	2.19		1-1~2-2 昨年より評価が改善されている事から、教育環境の整備・改善がなされたように感じます。	
		事務	1	2	0	2.33			
85	2-1 看護の専門職教育に必要な施設設備を計画的に整備している	教員	3	13	0	2.19		福利厚生の施設設備の整備というのが分かりにくい。設備面に限定した福利厚生という事になると、教員や学生が利用できる設備・環境という事でしょうか。具体的な要望を確認しながら、実現可能な整備を進めていければよいと思います。	
		事務	2	1	0	2.67			
86	2-2 医療・看護の発展や学生層の変化に合わせて、施設設備を整備・改善している	教員	4	12	0	2.25		学校として、この結果を踏まえ、課題として考えている事を明示すべき、と思われます	
		事務	2	1	0	2.67			
87	3-1 養成所が設置されている地域環境との関連から学生及び教職員にとっての福利厚生の施設設備の整備を検討している	教員	2	10	4	1.88	●検討しているのか分からない ●分からない ●福利厚生としての整備とは	具体的な提案に対して、どう対処されていますか	
		事務	1	1	1	2.00			
88	3-2 学生が学生生活を円滑に送り、教職員が職務を円滑に遂行できるように施設設備を整備している	教員	3	12	1	2.13	●Wi-Fi環境を整えてほしい。安全面に対して強化が必要。教員室に内鍵があるとよい(使いやすい)	具体的な提案に対して、どう対処されていますか	WiFi設備は、年度末に着手し、現在整っている
		事務	1	2	0	2.33			

<学生生活の支援>

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	学校関係者評価	学校の対応
89	1-1 学生が入学後に学修を継続できる支援体制を多角的に整えている	教員	6	10	0	2.38		概ね良好な評価で頼もしいです。3年課程が開始されるにあたり、皆さんで意思を確認し情報を共有した結果だと思われます。	
		事務	2	1	0	2.67			
90	1-2 学生が活用しやすいように学生生活の支援体制を整えている	教員	5	11	0	2.31		評価が低下することなく維持されています。これからも継続されます等よろしくお願いたします。	
		事務	2	1	0	2.67			
91	1-3 支援体制は、実際に学生に活用され、学修の継続を助けている	教員	4	12	0	2.25		在学中、国家試験にむけた一貫した支援を受けていると感じていました。学習だけでなく、生活全般の支援をする教員の心配りにも感謝をしています。教員の(面倒見の良さ)が本校の強みと考えます。今後も支援体制を整え学生を導いていただきたいです。	
		事務	3	0	0	3.00			

<養成所に関する情報提供>

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	和知看護部長	学校の対応
92	1-1 教育・学習活動に関する情報提供を関係者(保護者等)に行っている	教員	3	10	3	2.00	●特に実施していないと思う。何か問題になることがあったときくらい ●行っていないと考える。情報提供はホームページのみ	備考欄に「学生が集まらないところを見ると十分アピールできない」「早々に対策必要と考える」と記載があり、危機感を覚えます。具体的にといわれれば私自身もアイデアが出てきませんが、新しいアピール先を考える必要もあるのでは？	定期的な情報提供はコロナ禍でもあり実施していない。2年課程は学生の年齢層が高いため、保護者への説明は特に必要性を感じてはいなかったが、3年課程になれば、学生は10歳代が増えることを考える。定期的な開催は必要と思われるので、検討していく。
		事務	0	3	0	2.00			
93	1-2 関係者(保護者等)への情報提供は関係者から協力・支援を得ることにつながっている	教員	3	10	3	2.00	●特に実施していないと思う。何か問題になることがあったときくらい ●行っていないと考える。情報提供はホームページのみ ●繋がっているか分かりかねる	在学生の保護者に対する情報提供という意味であれば、共有すべき情報には、どのような内容があるのか具体的にした上で方法を考えていくとよいのではないのでしょうか。2年課程では既卒の学生が多く、保護者という立場の家族がいないが学生も多かったと思います。今後3年課程に移行していくと新卒学生も増え、不安をもつ保護者も増えるのではないのでしょうか。広報活動の一環、地域活動の一貫としても保護者懇談会を開催することも有効ではないかと思えます。	
		事務	0	2	1	1.67			
94	2-1 看護師等を養成する機関としての存在を、十分にアピールする広報活動を適切に行っている	教員	3	10	3	2.00	●高校や実習病院以外の施設と連絡し合うことは広報活動に繋がることを感じる機会があった ●学生が集まらないところを見ると十分アピールできていない。 ●十分ではないと感じる	今後に期待ではないでしょうか？従来、国家試験合格率100%を誇ってきただけでも素晴らしいですが、今後は卒業後の病院や施設での評価も反映されたりと期待がかかります。少子化が進む中、学生獲得に向けた広報活動は必要だと思います。養成機関としての特色や実績をアピールする方法や機会は色々と考えられますので、取り組まれるとよいのではなかろうか。	3年課程開設にあたり、広報活動に力を入れている。
		事務	0	1	2	1.33			
95	2-2 広報内容は、社会的説明責任を果たすものになっている	教員	3	12	1	2.13	●高校や実習病院以外の施設と連絡し合うことは広報活動に繋がることを感じる機会があった ●十分ではないと感じる	関係機関だけではなく、幅広く広報内容が伝わるとより良いのではないかと思います。	
		事務	0	2	1	1.67			

<養成所の運営計画と将来構想>

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	学校関係者評価	学校の対応
96	1-1 養成所は明確な将来構想のもとに、運営の中・長期計画、短期計画、年間計画を立案している	教員	1	12	3	1.88	●中長期的な視点が必要。組織として取り組むべき。 ●中長期計画は課題だと考える。過渡期にあり将来と言うより目の前の課題で精一杯	中長期的な展望が出されていると思われませんが、職員に周知不足でしょうか	
		事務	0	3	0	2.00			
97	1-2 その実施・評価は将来構想との整合性をもっている	教員	1	13	2	1.94	●中長期計画は課題だと考える。過渡期にあり将来と言うより目の前の課題で精一杯	昨年に比べ評価が下がっていますが、3年課程への移行に伴い、中長期的な構想や計画を職員に周知した上で、短期・年間計画を説明していく事が必要であると感じました。	
		事務	0	3	0	2.00			

<自己点検・自己評価体制>

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	学校関係者評価	学校の対応
98	1-1 自己点検・自己評価の意味と目的を理解している	教員	10	6	0	2.63	●あまり理解していない部分がある	自己点検・自己評価を行う体制は出来ていると思います。課題は多いと思いますが、すぐに改善できる事、計画性をもって取り組むべき事等を分類して取り組まれるとよいのではないのでしょうか。 改善の実績が見える事で、より点検・評価の意義を感じられるようになると思います。	
		事務	0	2	1	1.67			
99	1-2 実際に自己点検・自己評価を行うための知識と方法を明確にもっている	教員	6	10	0	2.38	●あまり理解していない部分がある		
		事務	0	2	1	1.67			
100	2-1 自己点検・自己評価体制を整え、運用している	教員	7	9	0	2.44		教員側は令和2年度の評価時と比べて2→3評価が上がった割合が多くなったと見受けられました。	
		事務	0	3	0	2.00			
101	2-2 自己点検・自己評価は、養成所のカリキュラム運営、授業実践にフィードバックするように機能している	教員	4	12	0	2.25			
		事務	0	2	0	2.00			
102	2-3 自己点検・自己評価体制は、養成所の教育理念・教育目的、教育目標の維持・改善につながるように機能している	教員	4	12	0	2.25			
		事務	0	2	0	2.00			
集計(平均)		教員	139	405	30	2.19			
		事務	28	57	21	2.07			

VI 入学

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	学校関係者評価	学校の対応
103	1 教育理念・教育目的との一貫性をもって入学者選抜についての考え方を述べている	教員						学生の履修状況や到達度から選抜方法について評価してみるのもよいのではないのでしょうか。	
		事務							
2	2 入学者状況、入学者の推移について、入学者選抜方法の妥当性及び教育効果の視点から分析し、検証している	教員							
		事務							

VII 卒業・就業・進学

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	学校関係者評価	学校の対応
105	1 卒業時の到達状況を捉える方法が明確であり、計画的に行っている	教員	3	13	0	2.19		卒業時の到達状況を捉えるとは、評価基準に基づき評価するという事でしょうか。到達レベルは個々で違うと思いますので、どこまでの状況を捉えるのかは難しい部分だと思います。統計の数値があるなら、データとして分析してこそだと考えます。ぜひ、分析していただくといろんな視点で問題や課題が見えてくると思われそうです	学校と卒業生の繋がりは大切である。同窓会の活動を進めていく。
		事務	0	3	0	2.00			
106	2-1 卒業時の到達状況を分析している	教員	7	9	0	2.44	●統計は取っているが分析は行っていないと思う	卒業生の新卒時の就業状況は把握しやすいが、教育理念目標と整合性しているかの分析は難しいと思われます。就業先での評価を把握できると分析できるのですが、実際にデータ収集ができていないようです。卒業した学生は就業先で言えない悩みや不安があると思います。卒業後も学生のサポートができるよう、卒業後の学生の支援、情報共有の方法体制作りが必要ではないのでしょうか。	卒業後に来校する学生から、情報は得ているが、全体を把握していない。
		事務	0	3	0	2.00			
107	2-2 卒業生の就業・進学状況を分析している	教員	8	7	1	2.44	●統計は取っているが分析は行っていないと思う		
		事務	0	3	0	2.00			
108	2-3 卒業生の到達状況、就業・進学状況についての分析結果は、教育理念・教育目標との整合性がある	教員	7	7	2	2.31			
		事務	0	3	0	2.00			
109	3-1 卒業生の就業先での評価を把握し、問題を明確にしている	教員	0	8	8	1.50	●課題である ●評価を把握していない ●卒業後の追跡調査を行う体制が無い ●可視化・言語化が無い ●卒業後のデータ収集に取り組んでいないため ●もっと訪問などして病院や就業先とも連携をするべきと考える	就職後の卒業生こそが、学校の評価と密接に関係していると考えます。〇〇の卒業生は、とひとくくりに話すこともあり、ひとくくりに系統が類似している場合があります。是非、限局した施設でもいいので、施設と連携し研究してみても構わないと思われそうです	学生の卒業後のフォローや、就職先との連携の仕組みは現在ないので、新たに構築し、今後関係性を深めていく。
		事務	0	3	0	2.00			

110	3-2	卒業生の就業先との情報交換や調査の実施等ができる体制を整えている	教員	0	8	8	1.50	●課題である ●体制が無い ●卒業後の追跡調査を行う体制が無い ●卒業後のデータ収集に取り組んでいないため ●もっと訪問などして病院や就業先とも連携をすべきと考える	卒業生の就職後の状況を把握するのは、なかなか難しい事かと思ひます。自ら学校を訪問してくれた学生の報告だけでは、見えない部分も多くあります。就職先としては、卒業生についての情報交換といっても個人的な内容をこちらからお伝えするのは躊躇するところでもあります。個人的というよりも、卒業生、新卒入職者全般についての傾向や問題等について情報交換ができるとよいと思ひます。
			事務	0	2	1	1.67	●整っているのか分かりかねる	
111	4-1	卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理している	教員	1	8	7	1.63	●課題である ●体制が無い ●卒業後の追跡調査を行う体制が無い ●もっと訪問などして病院や就業先とも連携をすべきと考える	項目3-1から4-2について 昨年度まで実習先を訪問することさえできず、加えて個人情報保護という視点からも、取り組みがたく課題となっていたのだと思ひました。 卒業生としては、先生方とのふれあいはもちろん、これから卒業され就職を考えてくださる学生さんの皆さんの情報収集ができることは大いに歓迎したいです。
			事務	0	2	1	1.67	●把握整理するのはどの部ですか	
112	4-2	卒業生の活動状況の分析結果を、教育理念・教育目的、教育目標、授業展開に活用している	教員	1	8	7	1.63	●体制が無い ●卒業後の追跡調査を行う体制が無い ●もっと訪問などして病院や就業先とも連携をすべきと考える	
			事務	0	2	1	1.67		
112		集計(平均)	教員	27	68	33	1.95		
			事務	0	21	3	1.88		

Ⅷ 地域社会／国際交流

<地域社会>

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	学校関係者評価	学校の対応	
113	1-1	社会との連携に向けて、地域のニーズを把握している	教員	1	10	5	1.75	●3年課程へ移行していく中で、もっと地域を意識した活動が必要と思ふ●地域への健康や看護について啓蒙活動やボランティア活動を行っていないため●現状は把握不足だが、3年課程の学習には期待している●地域との繋がりはあまり感じられない	地域包括ケア時代だからこそ、教員の方々も社会情勢や社会背景を把握して、私たち医療従事者に地域は何を望んでいるか等、生徒と共に考え発信する機会が大切だと思われ 以前、宮城県看護協会の支部活動をお手伝いさせていただいたことがあります。活動内容として地域住民との交流も含まれており、地域の文化祭などに参加し、ハンドマッサージや「町の保健室」として地域の方々の健康チェックを行うなどして行っていました。 本来の職場から離れて地域の方々や触れ合う先輩方の姿に出会えるいい機会になると思ふが、地域交流の場を情報提供してみるというのはいかがでしょうか。 また、コロナ禍で心身共に体調を崩され、潜在看護師となっている方もいらっしゃると思ひます。アフターコロナに向かう流れになりつつあるので、状況調査や支援を行いさらなる地域貢献を目指していただきたいと思ひます。	コロナ禍で、町内会でも、活動を自粛していたが、今年度から少しずつ活動を開始してきているので、学校も何らかの形で、かかわりを持つ予定でいる。今年度は防災活動の情報を得る予定。
			事務	0	2	1	1.67	●地域への活動自体が見えず、関わり方法が分からない。		
114	1-2	看護教育活動を通して地域社会への貢献を組織的にしている	教員	2	9	5	1.81	●3年課程へ移行していく中で、もっと地域を意識した活動が必要と思ふ●地域への健康や看護について啓蒙活動やボランティア活動を行っていないため●現状は把握不足だが、3年課程の学習には期待している●教育活動は直接地域貢献に直結していない●地域との繋がりはあまり感じられない	養成機関としての社会・地域連携のあり方を考える事は、これからの時代に大切な事だと思ひます。何らかの形で地域活動に参加するというのも、学生にとって地域を意識していく事につながるでしょうか。 近隣の小中学校ではボランティア活動を行うグループがあり、町内会と連携し地域貢献を行っています。現在は地域社会とのつながりは薄いと教員は評価しているが、今後は少しずつ地域への活動を行っていくのではと可能性を感じている。学生にとっても感性豊かな人間性を育む、社会貢献できる看護師を育成するという看護目的にあった学びが得られるのではないのでしょうか。	
			事務	1	1	1	2.00	●地域社会への活動はしていない		
115	2-1	養成所の教育活動について、地域社会のニーズを把握する手段をもっている	教員	1	9	6	1.69	●3年課程へ移行していく中で、もっと地域を意識した活動が必要と思ふ●地域への健康や看護について啓蒙活動やボランティア活動を行っていないため●現状は把握不足だが、3年課程の学習には期待している●地域との繋がりはあまり感じられない●地域にもっと活動を知ってもらえるように努力が必要と考える	まずは地域の健康や医療に関する現状やニーズを把握する事から取り組むのもよいかと思ひます。手段は、まず施設やステーションとのつながりで情報交換するのも一つだと思ひます。	
			事務	0	1	2	1.33	●持っていないと感じる ●地域社会への活動はしていない		



116	2-2	養成所から地域社会へ情報を発信する手段をもっている	教員	3	9	4	1.94	●地域への健康や看護について啓蒙活動やボランティア活動を行っていないため ●現状は把握不足だが、3年課程の学習には期待している ●地域にもっと活動を知ってもらえるように努力が必要と考える	
			事務	0	2	1	1.67	●地域社会への活動はしていない	
117	3-1	養成所が設置されている地域の特徴を把握している	教員	2	9	5	1.81	●3年課程へ移行していく中で、もっと地域を意識した活動が必要と思う ●交流が乏しいため、地域の特徴はよく分からない ●現状は把握不足だが、3年課程の学習には期待している ●地域への健康や看護について啓蒙活動やボランティア活動を行っていないため ●対応は必要だが、整備されていない●把握しきれていない	昨年と評価があまり変わっていません。自施設のある地域の特徴について、把握をする事はさほど難しい事ではないと思うのですが、把握する必要性をあまり感じられていないのでしょうか。 文化祭等を通じて地域への情報発信を行えるとよいと考えます。地域の住民でも看護学校の存在を知らない人が多いのが現状。地域の人たちから評価され選ばれる学校へ発展していくために、地域のことを知る機会を作ってほしいと考えます。
			事務	0	2	1	1.67	●地域との繋がりが無いため不明	
118	3-2	地域内における諸資源を養成所の学習・教育活動に取り入れている	教員	1	9	6	1.69	●地域への健康や看護について啓蒙活動やボランティア活動を行っていないため ●現状は把握不足だが、3年課程の学習には期待している ●教育活動は直接地域貢献に直結していない●対応は必要だが、整備されていない	今年こそは何か実現のために具現化していくのはどうでしょうか。 教員の間でも考え方に違いがあるように思います。組織として地域とのつながりや地域資源の活用等について方針をご議論いただく機会があるとよいと思います。
			事務	0	2	1	1.67	●取り入れていないと感じる	

<国際交流>

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	学校関係者評価	学校の対応	
119	1	国際的視野を広げるための授業科目を設定している	教員	4	12	0	2.25		難しい課題です	
			事務	0	3	0	2.00			
120	2	国際的視野を広げるための自己学習に適した環境を整えている	教員	3	5	8	1.69	●国際的な部分では手つかずである ●整えられていない。必ずしも必要とは思わない ●現状は難しいが、地域に居住する外国の方との交流が足りかかると良い ●整ってはいない ●整えていない	外国の方との交流の機会は少ないかもしれませんが、昔に比べ医療機関での対応の機会はかなり増えている状況です。すぐには難しいと思いますが、国際的な視野を持てる機会があるとよいと思います。	海外の方を受け入れの経験はあるが、日本語ができていたケースである。今後受け入れ態勢を整えられるかが課題である。
			事務	0	3	0	2.00			
121	3	海外からの帰国学生や留学生の受け入れ体制を整えている	教員	0	5	11	1.31	●国際的な部分では手つかずである ●整えられていない。必ずしも必要とは思わない ●体制が整っているか分からない ●現状は難しいが、地域に居住する外国の方との交流が足りかかると良い ●実績が無い ●整ってはいない	学生が国際的視野を広げることや、海外の方を学生として迎え入れることに対し必要だが低く手つかずになっている。しかし、日本人の人口減少や逆に海外からの移住者の増加を考えると、今後看護の対象者となる方が国内であっても、海外の方となる可能性が増えて行くことが否定できないのではないかと思います。今から視野を広げていっても良い項目ではないかと考えます。	
			事務	0	2	1	1.67	●整えていない		
122	4	留学や海外において看護職に就くこと等を希望する学生に対応できる体制を整えている	教員	1	6	9	1.50	●国際的な部分では手つかずである ●整えられていない。必ずしも必要とは思わない ●体制が整っているか分からない ●整えていない		
			事務	0	2	0	2.00			

集計(平均)	教員	18	83	59	1.74			
	事務	1	20	8	1.76			

Ⅸ 研究

評価内容		区分	3	2	1	平均	備考	和知看護部長	学校の対応
123	1 教員の研究活動を保障(時間的、財政的、環境的)している	教員	0	11	5	1.69	●研究活動は行われていない ●分からない ●行っていない	<p>教員が研究活動を実践できる環境作りや研究を通して看護教育の質向上につなげていくという意識の醸成も必要でしょうか。その上で組織としての体制作りをご検討いただくとよいと思いました。</p> <p>昨年は、今後の取組として「研究に取り組むための支援体制を今後検討していく」と挙げられていました。忙しいところとは思いますが、小さくグループワークから始めるなど、研究への取組みに対して一歩前進できるきっかけがあるといいのではと思います。</p> <p>昨年同様で、研究の取組み自体のしきみがないのなら、まずは一つからでもいいのではないのでしょうか？ 生徒さんたちの課題でもいいですし、教員のこういったアンケートの結果の中から抽出した問題や課題をデータ分析してみてもいいのではないかと考えます。日本看護協会の倫理綱領11項目に「看護職は研究や実践を通して、専門的知識・技術の創造と開発に努め、看護学の発展に寄与する。」と謳われています。小さなことでもいいので取り組みをお勧めします。</p> <p>全体として研究活動が行われていないと考える。2年過程のカリキュラムのなかで研究を行う時間がないのが実情ではないのでしょうか。今後、3年過程の養成校として発展していくうえで、教員の研究に価値をおくこと、研究活動を支援する素地をつくることは非常に大切と考えます。</p>	令和4年度は3年課程構築が中心であったため、授業研究は取り組んでいたが、改め整理し、発表する機会は設けてはなかった。
		事務	0	3	0	2.00			
124	2 教員の研究活動を助言・検討する体制を整えている	教員	1	7	8	1.56	●組織として取り組む必要がある ●整えられていない ●研究活動は行われていない		
		事務	1	2	0	2.33			
125	3 研究に価値をおき、研究活動を教員相互で支援し合う文化的素地が養成所内にある	教員	1	7	8	1.56	●組織として取り組む必要がある ●研究活動は行われていない ●実績が無い ●分からない		
		事務	1	2	0	2.33			
集計(平均)			2	25	21	1.60			
			2	7	0	2.22			